



大門小だより

5月号

大門大好き いい仲間 進んで学ぼう 元気な子



令和4年4月27日
横浜市立大門小学校

はじめまして 2度目まして

副校長 大久保 作織

さわやかな心地よい風に、初夏の香りが混じっているのを感じます。先日、道端に咲くたんぽぽの綿毛を飛ばしている親子を見かけました。草花遊びが楽しい季節です。

皆様、はじめまして。本年度着任しました大久保と申します。着任して1か月がたとうとしていますが、大門小学校の子どもたちや保護者の皆様、地域の方々の温かさを感じながら過ごしています。実は大門小学校とは、「はじめまして」、ではなく「2度目まして（造語です）」になります。以前大門小学校に来たのは、5年くらい前になるのでしょうか。教職員の研究会の研修で、大門の畑で畝を作る活動をさせていただきました。学校の目の前に畑があり、子どもたちがみんなで収穫の喜びを味わえる素敵な学校だなと思ったことを覚えています。実は、大門小学校の教職員の中にも、以前職場が同じだった方がいます。一度さようならをしても、また再びどこかで出会う「2度目まして」のご縁。私はいろいろなご縁で、今、大門小学校にいます。

大門小学校については、まだまだ知らないことが多いです。委員会活動の中に「農園委員会」があること、育てている野菜の中で特に「なす」が重要(?)であること、コロナ禍の運動会でチームが全員「紫チーム(茄子の色)」だったことなどを知りました。これらは、他の学校にはあまりない大門小学校の特徴だと思います。

職員が描いた茄子のキャラクター（名前はまだ無い）が学校のあちこちで子どもたちを見守っていますが、保護者や地域の皆様にも、今年度も引き続き大門小学校の子どもたちを見守り、サポートしていただければと思います。「大門サポーター募集のご案内」をお配りしました。その中には、「農園ボランティア」もあります。お力を貸していただける方は、ぜひ登録カードの記入をお願いいたします。もちろん、農園活動以外のボランティア協力者も、絶賛募集しています。



ゴールデンウィークが始まります。連休中も、引き続き毎日の健康観察へのご協力をお願いいたします。子どもたちだけでなく、ご家族の皆様や地域の皆様も感染症対策や交通安全等に留意してよい連休をお過ごしください。

4月の教育活動の様子



着任式 始業式 4月7日(木)

2022年度の始まりの式です。新しい学級で着席した後、着任した教職員の紹介をしました。次に、今年度の全教職員の紹介をしました。子どもたちは緊張しながらも、期待に胸を膨らませ、明るい表情で式に参加していました。

入学式 4月7日(木)

元気でかわいい1年生93名が入学しました。式では、新しい友達や先生との出会いにちょっぴり緊張した表情でしたが、校長先生の話をしっかり聞くことができました。「さんぽ」の歌を元気に歌い、大門小学校への仲間入りをしました。

6年生 1年生へのハッピーサポート

本校では、ペア学年活動を大切にしています。6年生が1年生の生活面をサポートする「ハッピーサポート」は、年間を通じて行っています。4月は、朝の支度や給食の片付けの仕方を教えたり手伝ったりしました。休み時間にも6年生がやさしく声をかけ、1年生はとてもうれしそうでした。

1年生ようこそパーティー 4月21日(木)

全校で1年生を迎える会をテレビ視聴で行いました。1年生の入学を楽しみに、昨年度から代表委員会で話し合って準備をしました。各学年が用意したクイズや紹介動画を楽しみ、最後は校歌を歌って、全校で心をつなぐことができました。これからいろいろな学年と関わることが楽しみとなりました。

4年生 地域の自然を生かした理科の自然観察

理科では、1年間を通して、大門川や境川沿い、本郷公園などへ行き、四季の植物や生き物の様子を観察します。学区の豊かな自然を活かした学びは、大門小の特色ある教育活動の一つです。本郷公園では、公園事務所の方々が子どもたちのために、観察コーナーを設けてくれました。地域の皆さんの子どもたちへの温かい思いが伝わってきました。



昇降口の三密回避のための整列入校

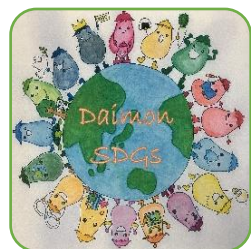
健康・安全・安心のできる生活のために

本年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、様々な取組を行っています。毎日の検温のチェック、消毒や手洗い、マスクの着用を徹底し、健康で安全に学校生活を送れるように考えています。それと同時に、心のケアや仲間づくり、ソーシャルディスタンスなどを意識した授業の工夫なども行い、健康・安全・安心な学校を目指します。



大門小学校のESD

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



今年度も、大門小学校はESDの推進校として様々な取組を行っていきます。年度始めの活動では、農園委員会の児童が、持続可能な取組を意識しながら農園活動を行いました。校内にSDGsの視点を掲示したり、昨年度の総合的な学習の時間の実践を掲示したりして子ども一人ひとりの意識を高めながら、今年の活動を盛り上げていきます。



総合的な学習の掲示





2022年度 委員会活動の紹介



いよいよ今年度の委員会活動が、本格的に始まりました。委員会は5・6年生の児童で構成されています。全校児童の学校生活が豊かになるように、SDGsも意識しながら、自分たちで活動を考えて進めていきます。

運営委員会	あいさつ週間をはじめとして、学校をよりよくするための企画について原案をつくったり、代表委員会の運営をしたりします。
飼育委員会	学校で飼育しているウサギを、大切に世話します。動物の命の大切さやすばらしさを伝えられるように、取組を考えて活動しています。
集会・交流委員会	1年間の集会活動の計画を立てます。全校の子どもたちが仲良く交流できるようにします。集まらなくても楽しめる内容を考え、集会の準備・運営をします。
環境・栽培委員会	大門小の環境に関わる活動について考え、全校に呼びかけます。校舎内外を清掃したり、正門や南門の周りを季節の草花でいっぱいにししたりして、きれいな学校をめざします。
給食委員会	給食に関わる活動に取り組みます。毎日クラスに配られる「ぱくぱくだより」を放送したり、給食週間などの内容を考えたりして、食の大切さを全校に伝えます。
保健委員会	保健室でけがをした人の手当での準備を手伝ったり、流し台の石鹸を交換したりします。学校保健委員会の運営などを通して、学校のみんながより健康になるように活動します。
体育委員会	校庭や用具の整備をし、体育の学習をするときに安全に使いやすくします。全校がさまざまな運動に親しんで、楽しく体を動かすことができる活動を考えて取り組んでいます。
図書委員会	図書室の本の整理や貸し出し・返却の受付をします。読書週間には、本をたくさん読んでもらうための取組を考えて、全校が本に親しめるような活動をします。
放送委員会	朝会や集会のときに放送機器の準備をします。朝の時間や休み時間、清掃の時間に放送したり音楽を流したりします。クラスインタビューなどの、番組を作成します。
農園委員会	農園に関わる活動に取り組みます。農園の整備や収穫祭の企画・運営などをして、大門小の宝である畑を大切にしながら農園活動を盛り上げます。

※委員会活動の内容は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、上の内容を制限して行っています。

児童相談員、校内及び児童セクハラ相談員

- ◇ 本年度の「校内セクシャルハラスメント相談窓口」は次のとおりです。ご相談事がありましたら、担当までお願いします。

児童支援専任 西田 一樹
養護教諭 菅原由理恵
副校長 大久保作織

TEL 302-5631 (学校)

- ◇ 教育総合相談センターの一般教育相談も、セクハラ相談窓口として利用できます。

TEL 671-3726

(月～金 9:00～17:00 祝日・振替休日は除く)

特別支援教育コーディネーター

今年度の担当は…

西田 一樹 齋藤 礼子

です。

子育てやお子様の学習・生活の相談を受け付けています。お話を聞かせていただき、学校カウンセラー等、お子様に必要な支援と一緒に考えます。何かございましたら、お気軽にご相談ください。

(学校：302-5631)

学校納入金、給食費について

- ★学校納入金の口座振替は、**5月17日(火)**です。
(横浜信用金庫) 納入していただく金額は、4月8日配付の「学校納入金についてのお知らせ」でご確認ください。
本年度は**年1回**の引落としです。ご注意ください。
- ★給食費は、横浜市が徴収します。金融機関にて手続きを済ませていないご家庭は、至急手続きをお願いします。
- ★学校納入金や給食費で未納の方がいた場合、学年教材の購入に支障が出たり、食材不足により十分な給食の提供が困難になったりすることがあります。**口座への入金**は、**期日までに金額に不足の無いよう**お願いします。

児童支援専任から



登下校の歩き方や放課後の過ごし方について、地域の方からご指摘をいただくことがあります。学校でも声かけを行っていますが、次の点についてご家庭でもお話してください。子どもたちの安全・安心を一緒に考えていく意味でもご協力よろしく願いいたします。

- ① **自分の通学路を守り、広がらずに歩く。**
→5月の安全強化WEEKでも、子どもたちと一緒に下校し、見守りを続けていきます。
- ② **自転車など安全な乗り方をする。**
→瀬谷区内でもスピードの出しすぎや見通しの悪い交差点での接触事故などによる交通事故が起こっています。
- ③ **公園内はたくさんの方が使用する場所であり、危険な遊びはしない。ルールを守って遊ぶ。**
→公園には高齢者や小さなお子さんもいます。周囲の状況を見て判断できるとよいです。